学習評価　FIRST STEP　―中学校国語科―

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。

2 学習評価の機能

○指導に生かす評価
生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと
※生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、〔指導に生かす評価〕を行いましょう。

○記録に残す評価
観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと
※毎回の授業において、〔記録に残す評価〕を行う必要はありません。生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元のまとまりの中で、評価規準に照らして、生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

3 学習評価の観点

育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

4 単元の学習評価の進め方

以下の単元を例に、学習評価の進め方の具体について示します。

第2学年　A 話すこと・聞くこと
単 元 名　魅力的な提案をしよう　資料を示してプレゼンテーションをする「国語2（光村図書）」

Step1　単元の目標と単元の評価規準を確認します。

単元の目標

（1）言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。〔知識及び技能〕(1)ア
（2）自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)イ
（3）資料や機器などを用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ウ
（4）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

→詳しくは、佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」p.2、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」pp.37-38 参照

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①　言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。((1)ア)	①　「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ②　「話すこと・聞くこと」において、資料や機器などを用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	①　自分の考えが分かりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。

→詳しくは、佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」pp.4-7、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」巻末資料参照

Step2　単元の指導と評価の計画に沿って評価を行います。

単元の指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や計画をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○話の構成を工夫することや提示資料作成のポイント、聞き手を意識した言葉や表現について考える。 ○聞き手のことを考えて、提案内容とアピールしたい点を決める。	・教科書や教師が作成したプレゼンテーションの例を示すことで、考えをノートに記入することができるようにする。 ・聞き手の興味・関心や町内に関する知識量を確認し、提案内容とアピールしたい点についてグループで検討することができるようにする。	本時は、A(1)アに基づいて学習状況を捉え指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。
2	○話の構成を工夫しながら進行案を作成し、役割分担や時間配分を決める。 ○自分が担当する部分の内容の詳細を考え、発表メモを作成する。	・第１時の学習で決めたアピールしたい点が効果的に伝わるようにグループで話合いをすることで、話の構成を工夫し、進行案を作成することができるようにする。 ・必要に応じて再度情報を集めてよいことを伝えるとともに、発表メモには要点を記入するように指示し、読み上げるための原稿にならないようにする。	［思考・判断・表現］① 観察・ノート・進行案 ・ここでは、アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫しているかを確認する。
3	○提案内容が分かりやすく伝わるような提示資料を作成する。 ○練習を通してプレゼンテーションの改善を図る。 ○プレゼンテーションを組み立てる際に考えた工夫を整理する。	・第１時の学習で考えた提示資料の作成のポイントを示すことで、提案内容が分かりやすく伝わるような表現の工夫を考えることができるようにする。 ・聞き手を意識した練習を行うように促し、話の構成、言葉や表現を改善することができるようにする。 ・プレゼンテーションを組み立てる際に考えた話の構成や提示資料、言葉や表現の工夫をノートに整理することで、第４時のリハーサルの前に説明できるようにする。	［思考・判断・表現］② 観察・提示資料 ・ここでは、提示資料を用いて、提案内容が視覚的にも伝わりやすくなるように工夫しているかを確認する。
4	○他のグループとプレゼンテーション発表会に向けたリハーサルを行い、相互にアドバイスを行う。 ○リハーサルを振り返り、プレゼンテーションの改善について検討し、修正する。	・リハーサルの前に、話し手はプレゼンテーションを組み立てる際に考えた話の構成や提示資料、言葉や表現の工夫を説明し、聞き手はそれらに着目してアドバイスをすることを確認する。 ・聞き手からのアドバイスを基にリハーサルを振り返るように促し、アドバイスシートを効果的に活用するようにする。 ・必要に応じて進行案や発表メモ、提示資料を修正するように促す。	［主体的に学習に取り組む態度］① 観察・進行案 ・ここでは、リハーサルを通して、聞き手に分かりやすく伝わるようにするためにプレゼンテーションの改善点について検討し、表現の工夫を考えようとしているかを確認する。
5	○プレゼンテーション発表会を行い、よかった点や改善点について考える。	・学級担任にプレゼンテーションを行うことで、聞き手を意識した言葉や表現になるように気を付けることができるようにする。 ・プレゼンテーションを聞くときの視点を示すことで、気付きをノートに記入することができるようにする。	［知識・技能］① 発表・ノート ・ここでは、聞き手を意識して言葉や表現を工夫しているかを確認する。
	○プレゼンテーションの振り返りを基に、単元全体の学習を振り返る。	・振り返りの視点を示すことで、本単元で学んだことを、今後の学習でどのように生かしていくのかについて考えることができるようにする。 【振り返りの視点】 ①単元の目標を達成するために頑張ったこと ②単元で工夫しようとしたが十分ではなかったこと ③今回学んだことを、これからどのように生かしていくか	

第１時では、〔記録に残す評価〕は行いませんが、第１時のねらい（目標）に即して生徒の学習状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。

〔指導に生かす評価〕を行う際は、「努力を要する」状況（C）の生徒への手立て等を講じ、指導します。

〔記録に残す評価〕は、生徒全員の学習状況を記録します。観察を評価資料にする場合は、取組の様子や発言やつぶやきの内容などをメモして、記録に残す工夫を行います。

また、グループ活動において個人の評価を見取る場合は、ワークシートに記述する際、自分で考えたことは赤いペンで、グループで考えたことは青いペンで記入するように伝え、個人の記述を見取ることができるようにする工夫などが考えられます。

→グループ活動における個別の評価については、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」事例3参照

「話すこと」の評価は、生徒のワークシート等の記述や実際の発表の様子を評価資料として総合的に評価する方法があります。
第5時では、発表の様子を録画し、授業後に見返すことができるようにします。

Step3　集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価（A、B、C）を行います。

評価メモ

観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	①(1)ア	単元における評価	①A(1)イ	②A(1)ウ	単元における評価	①	単元における評価
評価資料	・発表 ・ノート		・観察 ・ノート ・進行案	・観察 ・提示資料		・観察 ・進行案	
生徒あ	B	B	A	B	A	B	B
生徒い	B	B	A	A	A	A	A
生徒う	A	A	B	A	B	A	A

・観点ごとの総括的評価をする際には、左に示した評価メモを作成することが考えられます。

・学期末の観点別評価を行う際には、その学期で指導した単元それぞれの「単元における評価」を観点ごとに総括します。

学習評価の詳細については、佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」や国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を御参照ください。

学習評価の進め方　参考資料